

# 決算公表

問合せ：財政課

令和4年度決算の概要(各会計の決算が第3回定例市議会において認定されました。)

## ＜一般会計決算＞

歳入 451億4,696万円

歳出 450億2,376万円

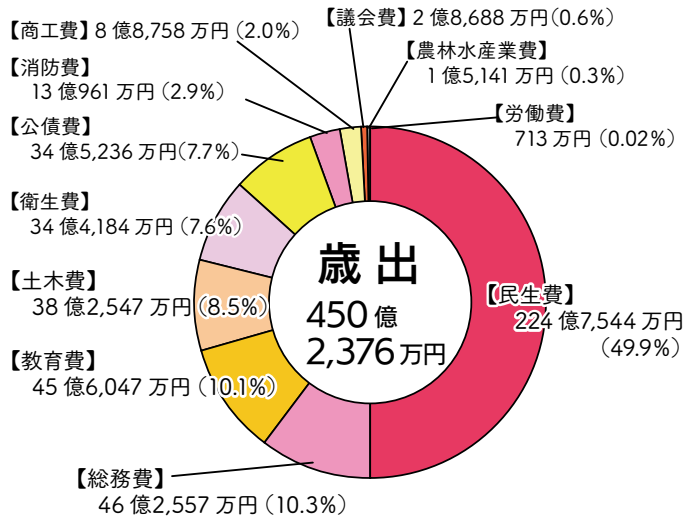
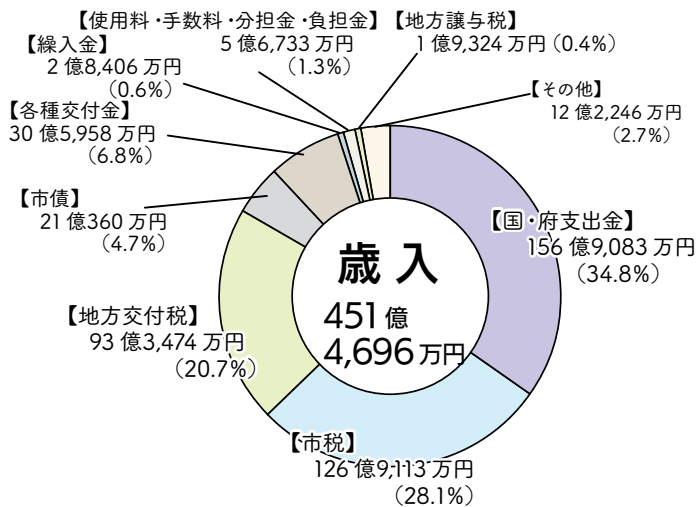
■実質収支 1億574万円

一般会計の歳入の総額は451億4,696万円、歳出の総額は450億2,376万円、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は1億574万円となりました。

歳入では、繰越金が454.6%、市税が3%増加しているものの、繰入金が65.3%、国庫支出金が12.7%減少するなど、全体で前年度比3.5%の減少となっています。歳出では、商工費が46.0%、教育費が14.3%増加しているものの、総務費が10.5%、民生費が5.9%減少するなど、全体で前年度比2.6%の減少となっています。

令和5年度以降も、社会保障費や公共施設の老朽化対策等への支出と併せて、物価高騰等に伴う歳入歳出両面への影響もあることから、健全な財政運営を持続できるよう、今後も行財政改革の取り組みを進めてまいります。

## 一般会計歳入歳出決算の内訳



■市民1人あたりの市税負担額 11万6,806円

■市民1人あたりの歳出決算額 41万4,389円

※構成比および金額は単純四捨五入のため、合計が100%にならない場合や総額と一致しない場合があります。

## 指標でみる羽曳野市の財政状況 ★いずれの指標も基準内となっています

【健全化判断比率】財政の健康状態を表す4つの比率

指標	羽曳野市	⑤早期健全化基準	⑥財政再生基準
①実質赤字比率	赤字額なし	12.14%	20.00%
②連結実質赤字比率	赤字額なし	17.14%	30.00%
③実質公債費比率	3.7%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	1.7%	350.0%	—

※数値が低いほど、健全度が高くなります。

【資金不足比率】企業会計の経営状況の健全度をみる比率

指標	羽曳野市	⑦経営健全化基準
水道事業会計	資金不足なし	
下水道事業会計	資金不足なし	20.0%
と畜場特別会計	資金不足なし	



総務省ウェブサイト

① 普通会計（一般会計＋土地取得特別会計）の赤字額より財政の健全度をみる比率

② 羽曳野市の全会計の赤字額から財政の健全度をみる比率

③ 借入金返済額などの大きさから財政の健全度をみる比率

(政令市を除く大阪府内の都市平均は3.0%です。)

④ 羽曳野市の負債残高から将来の財政の健全度をみる比率

(政令市を除く大阪府内の41市町村中、24市町村は将来負担額なしとなっています。)

⑤ 基準を上回ると、財政健全化計画を立てて、自主的な改善努力が必要

※「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」の早期健全化基準は、各自治体の財政規模により異なります。

⑥ 基準を上回ると、財政再生計画を立てて、国の関与を受け、確実な再生が必要

⑦ 基準を上回ると、経営健全化計画を定めなければならない

## 財政状況の見える化～QRコードから、羽曳野市の財政状況の見える化資料をご覧ください～

羽曳野市では、市民の皆様や議会の理解と協力を得ながら適切な行財政運営を行っていくため、羽曳野市の財政状況についてわかりやすく説明する「見える化」に取り組んでいます。

財政課ウェブサイト→



# 会計別歳入歳出決算額

(千円・%)

会計名	歳入		歳出		歳入歳出 差引額
	決算額	前年度比	決算額	前年度比	
一般会計	45,146,963	96.5	45,023,759	97.4	123,204
国民健康保険特別会計	12,706,787	97.1	12,607,564	97.6	99,223
と畜場特別会計	118,304	186.5	118,304	186.5	0
財産区特別会計	1,485,738	96.7	35,430	67.6	1,450,308
介護保険特別会計	11,097,603	99.6	10,924,765	99.9	172,838
土地取得特別会計	205,037	21.5	205,037	21.5	0
後期高齢者医療特別会計	2,108,235	108.7	2,043,166	108.8	65,069

(千円・%)

会計名	総収益		総費用		純損益
	決算額	前年度比	決算額	前年度比	
水道事業会計	2,299,987	99.7	1,925,824	104.2	374,163
下水道事業会計	3,269,424	100.8	2,872,954	100.7	396,470

## 令和4年度 主要事業

### 新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策事業 【29億1,151万円】

新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策として、新型コロナウイルスワクチン接種事業、季節性インフルエンザ予防接種費用助成事業、子育て世帯等臨時特別給付金事業、教育用電子黒板機能付大型液晶モニター機器購入事業、高齢者生活支援事業、小学校6校・中学校5校体育館空調設備設置、LICはびきの空調機器更新、観光・シティプロモーション促進事業、プレミアム付き商品券事業などを実施

### 大阪はびきの観光局の設立 【3,897万円】

地域資源を活用した新たな観光施策に取り組み、観光によるまちづくりを推進するため、大阪はびきの観光局を設立

### ALTの増員配置 【2,787万円】

外国語教育の充実と多文化共生教育を推進するためにALTを増員

### 学習アプリの導入 【739万円】

ICTを活用した教育を推進し、個別最適な学びの実現と学習意欲の向上を図るため、AI機能を有する学習アプリを導入

### 電子図書館サービス 【425万円】

パソコンやスマートフォン、タブレットで電子書籍が閲覧できる電子図書館サービスを導入

### タウンミーティング、地域区長懇談会の開催 【26万円】

地域の实情に即したまちづくりを推進するため、公募形式のタウンミーティングや、市内7地区における地域区長懇談会を開催

### 市民プール整備事業 【3億9,663万円】

中央スポーツ公園内において、幼児が楽しむことができる遊具も備えた市民プールの整備工事を実施

### はびきの殖生学園第2体育館整備事業 【6,731万円】

はびきの殖生学園第2体育館の非構造部材にかかる耐震化工事を実施

### 学校給食センター整備事業 【345万円】

安全で安心な小学校給食の提供とさらなる食育の推進に向け、学校給食センターの新築移転整備にかかる基本計画を策定

### 本庁舎建替整備事業 【730万円】

耐震性能や老朽化等の課題がある市役所本館について、新庁舎整備にかかる基本構想を策定

### ボール遊びができる広場整備事業 【5,861万円】

旧高鷲北幼稚園の跡地において、地域の子どもたちが安全・安心な環境のもと伸び伸びとボール遊びができる広場空間の整備に向けて、旧園舎の解体工事および広場整備の実施設計・工事等を実施

### 道路・橋梁整備事業 【1億9,946万円】

老朽化が進む道路・橋梁において、舗装工事等を実施。都市計画道路八尾富田林線(羽曳野工区)の関連道路の整備や国道170号(大阪外環状線)西浦交差点部の改良に向けた予備設計を実施

### 市営住宅集約建替事業 【11億9,355万円】

地域と連携しながら進めてきた市営野野住宅の整備について、戸数81の住戸棟(鉄筋コンクリート造 8階建)新築を含む集約建替工事を実施

## 令和4年度 下水道事業の財政状況 (下水道事業会計決算の概要)

問合せ

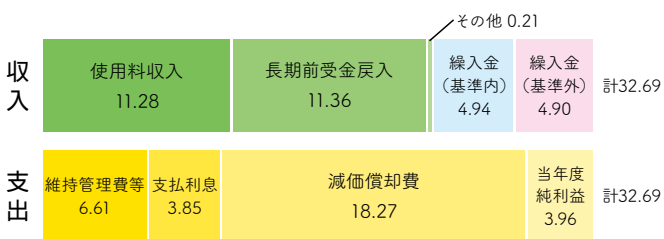
下水道総務課総務企画担当

令和4年度は収益的収支において、3億9,647万円の当年度純利益を計上しました。しかしながら、一般会計からの繰入金※のうち基準外繰入金(収益的収支及び資本的収支)は6億1,458万円になっており、基準外繰

入金がなければ赤字となる厳しい状況にあります。将来に渡り、安定した下水道サービスを提供できるよう、下水道事業における経営健全化の取り組みを進めてまいります。

### ■収益的収支(税抜)

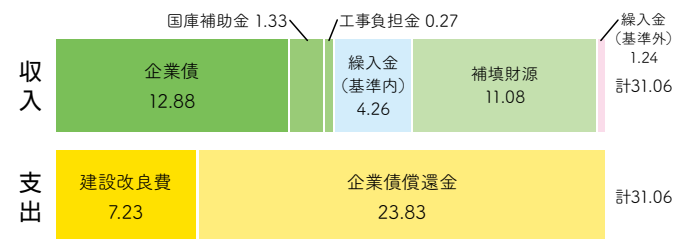
～使用後の水を処理場へ送り、適切に処理するための費用と収益～



(単位:億円)

### ■資本的収支(税込)

～下水道施設の建設や改良のための支出と収入～



(単位:億円)

※繰入金の種類は大きく2つに区分することができ、総務省が定める基準に合致した経費に対する繰入金を「基準内繰入金」、基準に合致しない例外的な繰入金を「基準外繰入金」と言います。基準内繰入金には雨水処理や分流式下水道等に要する経費などが挙げられます。基準外繰入金は下水道使用料などの収入で経費を回収しきれない場合等に発生します。